

JAF 公認国内競技

2006 年 J A F 全日本ラリー選手権 第2戦

2006年久万高原ラリー 特別規則書



<http://www2.odn.ne.jp/mac/>

開催期間 : 平成18年4月28日(金) ~ 30日(日)

主催 : 松山オートクラブ(MAC)

共催 : チーム・エトワール(ETOILE)

ドライバーズ・クラブ・ルーキー(DCR)

協力 : JMRC中国・四国

公示

本競技会は、国際自動車連盟（FIA）の国際スポーツ競技規則ならびにそれに準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則、およびその付則ならびに2006年日本ラリー選手権規定、本競技会特別規則書に従って国内競技として開催される。

この特別規則書の内容等の変更並びに追加は、日付及びナンバーの入った公式通知により変更するものとする。（オーガナイザーまたは審査委員会により発行）

プログラム

| 日時 | アイテム | 場所 |
|---------------|--------------------|---------|
| 3月15日(水曜日) | | |
| 10時00分 | エントリー開始 | 大会事務局 |
| 3月31日(金曜日) | | |
| 19時00分 | エントリー締め切り | 大会事務局 |
| 4月28日(金曜日) | | |
| 06時00分～21時00分 | ラリーHQの開設時間 | |
| 06時00分 | ラリーHQの開設 | 美川スキー場 |
| 06時00分 | 公式掲示板(4月30日12:00迄) | サービスパーク |
| 06時00分 | ロードブックの発行 | |
| 06時00分～17時00分 | サービス受付 | HQ前 |
| 06時00分～06時30分 | レッキ受付 | HQ前 |
| 06時30分～06時50分 | レッキブリーフィング | HQ前 |
| 07時00分～16時00分 | レッキ | |
| 14時00分～17時00分 | 参加確認 | サービスパーク |
| 14時00分～18時00分 | 公式車両検査 | サービスパーク |
| 17時30分～18時30分 | 第1回審査委員会 | 審査委員会室 |
| 18時30分～ | ドライバーズブリーフィング | 白銀荘前 |
| 19時00分 | Leg1スタートリストの公示 | 公式掲示板 |
| 4月29日(土曜日) | | |
| 05時00分～22時00分 | ラリーHQの開設時間 | |
| 07時00分～07時15分 | 開会式 | |
| 07時31分 | ラリースタート | |
| 18時30分 | 1号車フィニッシュ(予定) | サービスパーク |
| | 再車両検査 | サービスパーク |
| 20時00分～ | 審査委員会 | 審査委員会室 |

4月30日(日曜日)

08時30分～11時00分 ラリーHQの開設時間

09時00分～ 閉会式、表彰式

白銀荘前

08時50分 リザルトブックの発行

1 . 概 要

1.1 競技会の名称、日程、場所

ラリーの名称： 2006年JAF全日本ラリー選手権第2戦

2006年久万高原ラリー

場 所： 愛媛県上浮穴郡久万高原町

日 程： 2006年4月28日(金)～2006年4月30日(日)

1.2 タイトル

2006年JAF全日本ラリー選手権

1.3 日本自動車連盟(JAF)公認番号

JAF公認No. : 2006-7007

発行日:2006年3月14日

1.4 ラリーHQの場所

愛媛県上浮穴郡久万高原町日野浦4384番地 美川スキー場

1.5 スタート及びフィニッシュの場所

スタート： 美川サービスパーク

フィニッシュ： 美川サービスパーク

1.6 パルクフェルメの場所

美川サービスパーク

1.7 サービスパークの場所

愛媛県上浮穴郡久万高原町日野浦4384番地 美川スキー場駐車場

1.8 路面の種類

全スペシャルステージ：ターマック(舗装)

1.9 コース概要

コースの総距離： 約250km

スペシャルステージの数： 10本

スペシャルステージの総距離： 約80km

セクションの数： 3

レグの数： 1

1.10 競技形式

ラリー競技会組織に関する規定第6条によるスペシャルステージラリー

2 . 組 織

2.1 オーガナイザー

主催：松山オートクラブ (略称MAC) (JAF加盟クラブNo.38022)
共催：チーム・エトワール (略称ETOILE)(JAF加盟クラブNo.38001)
 ドライバーズ・クラブ・ルーキー(略称DCR) (JAF加盟クラブNo.38009)

2.2 大会事務局の住所及び照会先

2006年久万高原ラリー大会事務局

住所： 〒790-0944 愛媛県松山市古川西2丁目16-22

竹下 俊博

TEL： 089-958-3089

FAX： 089-958-3069

E-mail： rally-mac@e-mail.jp

Mobile： 090-2891-7471

Website： <http://www2.odn.ne.jp/mac/>

2.3 大会役員

| | | |
|--------|-------|------------------|
| 大会名誉会長 | 関谷 勝嗣 | (参議院議員) |
| 大会会長 | 河野 忠康 | (愛媛県議会議員) |
| 大会名誉顧問 | 玉水 寿清 | (久万高原町町長) |
| 大会顧問 | 武智 俊憲 | (タケチプロジェクト代表取締役) |
| 大会顧問 | 西山 公彦 | (美川建設代表取締役) |
| 大会顧問 | 伊狩 幸道 | (うつぼ屋代表取締役会長) |

2.4 大会組織委員会

| | | |
|--------|---------|-------------|
| 組織委員長 | 高木 一之 | (MAC) |
| 副組織委員長 | 小清水 昭一郎 | (ETOILE) |
| 組織委員 | 山本 貢 | (DCR) |
| 組織委員 | 山本 博文 | (MCCS) |
| 組織委員 | 山口 義仁 | (G.R) |
| 組織委員 | 藤沢 繁美 | (OWL) |
| 組織委員 | 大西 周 | (DCR) |
| 組織委員 | 中田 勝也 | (COCKPIT55) |
| 組織委員 | 三好 正哲 | (SETOKAZE) |
| 組織委員 | 長田 和浩 | (SETOKAZE) |
| 組織委員 | 竹下 俊博 | (MAC) |

2.5 審査委員会

| | | |
|-------|-------|---------|
| 審査委員長 | 上村 賢司 | (JAF派遣) |
| 審査委員 | 竹道 雄康 | (JAF派遣) |
| 審査委員 | 三好 瑛二 | (MCCS) |

2.6 競技役員

| | | |
|---------|-------|-------------|
| 競技長 | 山本 貢 | (DCR) |
| 副競技長 | 高木 一之 | (MAC) |
| 副競技長 | 大西 直彦 | (MAC) |
| コース委員長 | 大西 周 | (DCR) |
| 副コース委員長 | 三好 正哲 | (SETOKAZE) |
| 計時委員長 | 小野 守 | (T.CHERISH) |
| 副計時委員長 | 藤井 薫 | (T.CHERISH) |
| 技術委員長 | 石井 高文 | (MAC) |
| 副技術委員長 | 西森 啓祐 | (DCR) |
| 救急委員長 | 臼杵 正弘 | (AC) |
| 医師団長 | 紙谷 孝則 | (外科医) |
| 事務局長 | 竹下 俊博 | (MAC) |
| 事務局次長 | 田代 啓之 | (MAC) |

3 . 参加申込

3.1 参加申込受付期間

| | | |
|--------|---------------|----------|
| 受付開始日 | 2006年3月15日(水) | 10時00分 |
| 最終の締切日 | 2006年3月31日(金) | 19時00分必着 |

3.2 参加申込方法

2006年久万高原ラリーに参加を希望する場合は、下記の書類を正しく記入し、大会事務局宛送付すること。

1. 参加申込書
2. サービス申込書
3. 車両申告書
4. アンケート
5. レッキ参加申込書
6. 宿泊申込書
7. 誓約書
8. 振込明細書
9. ドライバー、コ・ドライバーの顔写真(4 X 3 cm)、参加車両の写真(L判)
10. ラリー競技に有効な自動車保険(任意保険)の写し(対人、対物、搭乗者の金額がわかるもの)
11. 自動車検査証の写し

エントラント及び各クルーメンバーは、参加申込書に、署名捺印しなければならない。

3.3 参加資格

- 3.3.1 1台の車両に乗車する人員は、ドライバー、コ・ドライバーの2名とする。
- 3.3.2 ドライバー、コ・ドライバーは、2006年JAF国内競技運転者許可証B級以上の所有者でなければならない。
- 3.3.3 ドライバー、コ・ドライバーは、本競技会参加申込締め切り時点において、参加車両を運転するのに有効な運転免許証を取得後1年以上経過していること。
- 3.3.4 ラリーに有効な任意保険〔対人（無制限）・対物（500万円以上）・搭乗者（1,000万円以上）〕に加入していること。

3.4 参加車両およびエントリー台数

- 3.4.1 エントリーの上限は60台とする。エントリーが60台をオーバーした場合、オーガナイザーが選考する権利を有する。
- 3.4.2 オーガナイザーは、国内競技規則第4章第19条に従って、エントリーを拒否する権利を有する。
- 3.4.3 競技に参加できるのは以下の車両とする。

- ・選手権クラス：2006年日本ラリー選手権規定第6条に従った車両であると。

排気量別クラス

- JN-1：気筒容積が1400cc以下の車両
- JN-2：気筒容積が1400ccを超え1600cc以下の車両
- JN-3：気筒容積が1600ccを超え2000cc以下の車両
- JN-4：気筒容積が2000ccを超える車両

- ・選手権以外のクラス：2006年日本ラリー選手権規定第6条に従ったRN/RJ車両または2002年以前に初度登録された公認/登録車両で2002年ラリー車両規定に従って製作された車両（RB車両）であること。

排気量別クラス

- OP-1：気筒容積が1400cc以下の2輪駆動の車両
- OP-2：気筒容積が1400ccを超える2輪駆動の車両
- OP-3：気筒容積が2000cc以下の4輪駆動の車両
- OP-4：気筒容積が2000ccを超える4輪駆動の車両

3.4.4 参加車両の装備

- ・非常用停止表示板（三角）2枚、非常用信号灯、赤色灯、牽引用ロープ、救急薬品および各車両規定に従った消火器を搭載すること。
- ・4点式以上のFIA公認シートベルトを装備すること。（選手権クラス・選手権以外のクラスともに）
- ・クルーが着用するヘルメットおよびレーシングスーツは、国内競技車両規則第4編付則に従った装備品を強く推奨する。
- ・消音器はメーカー純正品を使用すること。

3.5 エントリー料金

競技参加料

| | |
|-----------------|---------------------|
| ・選手権クラス | 140,000円(2名2泊朝夕食付) |
| ・選手権以外クラス | 80,000円(2名2泊朝夕食付) |
| レッキ参加料 | 15,000円(昼食2名分付) |
| サービスカー登録料 | 10,000円(1台1名) |
| サービスクルー登録料 | 2,000円(1名追加) |
| サービスクルー宿泊料 | 7,000円(1名朝夕食付1泊につき) |
| 任意保険代(加入していない方) | 別紙参照 |

3.6 エントリー料金の支払方法

競技参加料、レッキ参加料などエントリー料金の支払い方法は、下記銀行口座への振込みのみとする。

愛媛銀行 古川支店

(普)2103000 松山オートクラブ 竹下俊博

振込み手数料は申込み者の負担とする

振込み人名義は参加者とする

申込み期間内に振込みが確認された場合のみ、正式申込みとみなす

3.7 エントリー料金の返金

エントリー料金は以下の場合返金される。

- 1) エントリーが受理されなかった場合。
(事務局経費2000円差し引いた額を返金)
- 2) ラリーが開催されなかった場合。

4 . 保険

全ての競技参加車両は自賠責保険及びラリー競技に有効な任意の対人対物保険(3.3.4)へ加入することとする。

5 . ゼッケン及びステッカー

オーガナイザーより各クルーに対しゼッケン及びステッカー一式が支給される。これらは各自車両に公式車両検査までに付則1に示すように貼付しなければならない。また競技中は外部より確認しやすいように維持しなければならない。

6 . タイヤ

タイヤの本数制限およびマーキングはしない。
スパイクタイヤの使用は認められない。

7 . 燃料

競技中の燃料補給は、ロードブックに記載されているリフェール地点で行い、給油所で販売されている物のみとする。

8 . レッキ

8.1 レッキ受付

レッキに参加する全てのドライバーは、本特別規則書を遵守しなければならない。レッキ受付は、下記の通り行われる。

日時：2006年4月28日（金）06:00～06:30

場所：美川スキー場駐車場

受付時に各クルーにレッキ用ロードブックとレッキ用ゼッケンが支給される。

8.2 スケジュール

レッキのスケジュールの詳細については、レッキ用ロードブックに従うこと。

8.3 クルーの遵守事項

8.3.1 レッキの間、車両の左側のリアサイドのウインドウにレッキ用ゼッケンを貼付しなければならない。レッキ用ロードブックは、各スペシャルステージに於いて最大で2回通過するのに有効である、スペシャルステージのスタートのオフィシャルによって、チェックを受けなければならない。

8.3.2 各クルーは、各スペシャルステージを最大で2回走行することができる。ただし同じ区間を重複使用するスペシャルステージは1つのステージとして1ヶ所で2回の走行とする。

8.3.3 レッキの間、競技者は交通法規を遵守し、道路標識に表示されている制限速度を守らなければならない、いかなる場合にも、他の道路使用者の安全と権利を尊重しなければならない。スペシャルステージ内での最高速度は制限速度もしくは45km/hの低いほうとする。

オーガナイザーはレッキのルート上で競技者の動作を目視または計測機器、写真、ビデオによって監視することがある。いかなる違反も審査委員会に報告される。

9 . 乗員及び車両の変更

9.1 正式参加受理後の乗員の変更は認められない。ただし、参加者から理由を付した文書が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はその限りではない。

9.2 参加クラスの変更を伴う車両変更は認められない。

10 . 参加確認

- 10.1 場所
サービスパーク
- 10.2 スケジュール
日時：2006年4月28日（金） 14:00～17:00迄
- 10.3 必要書類
 - ・ドライバー，コ・ドライバーのライセンス及び運転免許証、エントラントライセンス
 - ・車検証，自賠責保険証，任意保険証書公式車検までに参加確認を終了していること。

11 . 公式車両検査

- 11.1 場所
サービスパーク
- 11.2 時刻
2006年4月28日（金） 14:00～18:00

12 . スタート

- 12.1 スタートリストの公示
 - 場所：サービスパーク(公式掲示板)
 - 時刻：2006年4月28日 19:00
- 12.2 スタート
 - 場所：サービスパーク（パルクフェルメ）
 - 時刻：2006年4月29日 07:31
- 12.3 スタート前パルクフェルメ

全ての競技車両は、公式車両検査合格の後パルクフェルメに進入すること。
パルクフェルメには、自車のスタート時刻の10分前に立入ることができる。
上記に違反した場合、競技会審査委員会の裁定によりスタート不許可を上限とする罰則が適用されることがある。

13 . ラリーの進行

- 13.1 タイムカードの交換

タイムカードは各セクションの最終TCにてオフィシャルにより回収される。
各セクションの最初のTCにて新たなタイムカードがオフィシャルにより手渡される。

- 13.2 スペシャルステージのスタートシステム
スペシャルステージのスタート合図に本規則書付則 2 にあるカウントダウンシステムを使用する。また、このシステムに同期したフライングチェックシステムを使用する。
もし、このシステムが故障した場合は、ラリー競技会組織に関する規定10.4)(1) に従いカウントダウンする。
- 13.3 アーリーチェックイン
レグの最終のTCは、早着減点の対象としない。ただし、道路交通法を遵守すること。
- 13.4 オフィシャルのウェア
各オフィシャルは、以下の服装により識別される。
ポストチーフ 青色のベスト
技術委員 黒色のベスト
その他オフィシャル 黄色のベスト
- 13.5 スタート間隔
全ての車両：1分間隔
- 13.6 トラブル報告
競技者がスペシャルステージ内で停止した場合は、携帯電話が通話可能であれば、HQまで、状況を速やかに連絡しなければならない。
- 13.7 オフィシャルタイム
全日程を通して使用する基準時刻は日本標準時を使用する。
- 13.8 スペシャルステージのタイム
スペシャルステージの計測は、光電管を用いて1/10秒まで行う。

14 . サービスパーク

- 14.1 サービスパークの場所
美川スキー場駐車場
- 14.2 サービスエリアのアクセスタイム
オーガナイザーの指示が無い限り、2006年4月27日(木)17:00より登録車両が入場することが出来る。
- 14.3 サービスカー
サービスカー登録した車両に対しサービスカーゼッケン等が配布される。
これらの車両は、サービスエリア内に駐車することができる。
- 14.4 サービス
競技中はオーガナイザーが指定した場所(サービスエリア)以外で整備作業を行うことは出来ない。整備作業を行うことができる者は、当該車両の乗員及びオーガナイザーに登録済みの者とする。整備作業にあたっては、他の交通および作業員の安全確保に十分留意すること。サービスパークでの車両整備の範囲は下記の通りとする。

1 タイヤの交換 2 ランプ類のバルブの交換 3 点火プラグの交換 4 Vベルトの交換

上記以外に作業員の安全を十分確保することを条件に、競技会技術委員長が許可した項目。

15 . 賞典

15.1 表彰式

場所：白銀荘前

日時：2006年4月30日(日)09:00

15.2 賞典

総合1位 J A F 楯

各クラス 1位～3位 J A F 楯, カップ, 副賞

4位～6位 カップ, 副賞

ただし、J A F 盾を除き台数により変更することがある。

16 . 再車検

場所：美川サービスパーク(再車検場)

日時：2006年4月29日(土)

17 . 結果

暫定結果公示

場所：公式掲示板

日時：2006年4月29日(土)

18 . 抗議

18.1 抗議料金は50,900円である。

抗議の付帯費用はその抗議が成立した場合は抗議対象者が、否決となった場合は抗議提出者が支払うものとする。

18.2 J A F のモータースポーツ審査委員会への控訴料金は152,900円である。

19 . 競技会の中止又は延期

保安上又は不可抗力による事情が生じた場合は、競技会審査委員会の決定によって競技会の開催を中止、延期、又はコースの短縮を行うことがある。又中止、再競技の場合の日時は、公式通知を持って公表する。この場合、参加料は返還する。

20 . 本規則の解釈

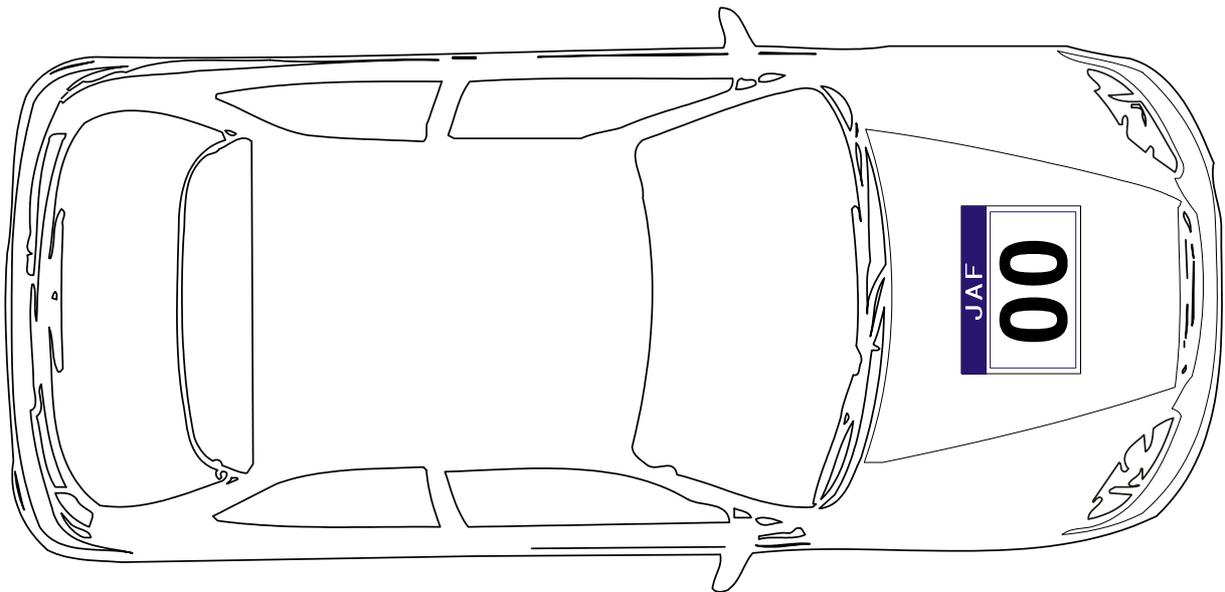
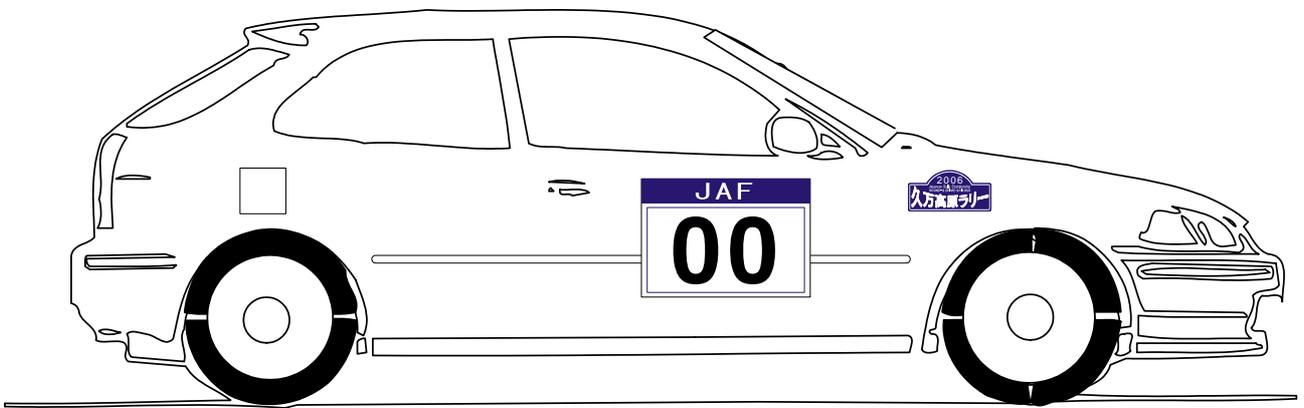
本規則あるいは公式通知の解釈に疑義が生じた場合は競技会審査委員会の決定を最終とする。

本規則は2006年3月14日より施行する。

付則 1

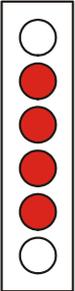
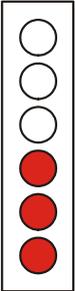
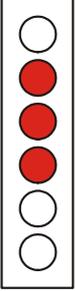
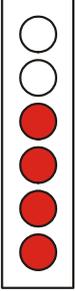
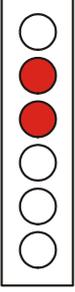
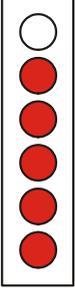
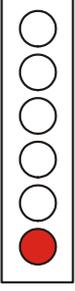
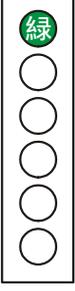
特別規則書 5 によるゼッケン、ステッカーの貼付位置

ゼッケンは左右ドア 1 枚ずつ及び、ボンネット 1 枚の計 3 箇所、ステッカーは左右 F フェンダー



付則 2

スタート信号

| | | | |
|---|--------------------------|---|--------------------------------|
|  | スタート 30 秒前 4 個の赤ランプ点灯 |  | スタート 3 秒前 3 個の赤ランプ点灯 |
|  | スタート 15 秒前 3 個の赤ランプ点灯 |  | スタート 2 秒前 4 個の赤ランプ点灯 |
|  | スタート 10 秒前 2 個の赤ランプ点灯 |  | スタート 1 秒前 5 個の赤ランプ点灯 |
|  | スタート 5 秒前 1 個の赤ランプ点灯 |  | スタート 全ての赤ランプ消灯 同時に緑ランプ点灯 |
|  | スタート 4 秒前 2 個の赤ランプ点灯 |  | スタート 20 秒後 緑ランプ消灯 |